

## 平成 30 年度 西東京市立学校 学校経営計画

|     |            |     |       |
|-----|------------|-----|-------|
| 学校名 | 西東京市立谷戸小学校 | 校長名 | 野崎 信行 |
|-----|------------|-----|-------|

### 学校教育目標

- 心の豊かな子  
自他を尊重し、認め合いながら協力して行動する児童（人間関係調整力）
- 元気で、ねばり強い子  
自己を高めるために課題に向かって自ら考え、粘り強く取り組む力（実行力）
- 進んで学び、行動する子  
豊かな言語活動を通して課題解決をしていく児童（問題解決力）

### 学校の特色

- 1 一人一人を大切にしたい、人権教育及び特別支援教育を推進する。  
人権教育を推進するとともに道徳教育の充実を図り、自尊感情や自己肯定感を高め、いくことを重視している。また、いじめや体罰の根絶を目指している。特別支援教室の拠点校として、支援教室の担当教員と担任が連携して児童理解に努め、個別指導計画・個別支援計画をもとに支援の在り方や進め方を協議し指導に当たっている。
- 2 質の高い授業づくりに努め、学力向上を図る。  
ユニバーサルデザインの考えを土台に、意欲を引き出す指導、対話活動を充実させる指導、学んだことを言語化できる指導を大切にしたい授業改善に努めている。また、谷戸ゼミや朝学習、家庭学習等の充実を図り、児童の確かな学力の定着及び学ぶ意欲の向上を図っている。
- 3 保護者とともに児童の読書活動を推進する。  
保護者による読み聞かせ等の協力を得ながら読書活動を推進している。読書好きの子供が多い。低中学年で読書好き、高学年で読書の幅を広げる子供を育成している。
- 4 保護者とともに健康教育を推進する。  
気持ちよく安心して運動できる全面芝生の校庭を生かし、体力の向上に向けた取組に努めている。一方、食事・睡眠・テレビやゲームなどの児童を取り巻く環境が直接子供たちへの心と体の健康に深く影響している。体力向上とともに食育指導・生活習慣の改善等、保護者との連携をもとに健康教育を進めている。
- 5 地域とともに安心・安全な開かれた学校づくりに努める。  
地域・保護者・学校のネットワークを強化し、防災教育及び安全教育などを推進するとともに児童虐待防止に努めている。学校が地域と関わり、積極的に貢献し、さらなる信頼・協力関係を深めている。

### 目指す学校像（学校像、児童・生徒像、教師像）

#### 【目指す学校像】

- ・ 子供の笑顔が広がり、声が響き合う、幸せ追求の学校

#### 【目指す児童像】

- ・ 将来の夢を思い描きながら自己肯定感・自尊感情があふれる子供

#### 【目指す教師像】

- ・ 創意工夫に満ちた授業の充実に努め、子供の心に灯をともし人間力ある教師

## 学校経営の目標

### 1 中期経営目標（中間的課題）

#### 【人権教育】

（１）人権教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。

#### 【学力の向上】

（２）基礎・基本の定着とともに、深い学びを実感できる授業を実施する。

#### 【体力の向上】

（３）丈夫な体とたくましい心を育てる。

#### 【特別支援教育】

（４）一人一人を大切にしたい、特別支援教育を推進する。

#### 【地域との連携】

（５）地域に信頼される学校づくりを行う。

### 2 短期経営目標

（１）互いの良さを生かして協働する力を育て、いじめや体罰の根絶に努める。

（２）基礎・基本の定着を図り、主体的に考えを伝え合い、学びに向かう力を育てる。

（３）子供の生活全体を通して健康教育を推進するとともに、体力の向上を図る。

（４）特別支援教室拠点校として、一人一人に応じた支援を充実する。

（５）地域と密着した学校を目指し、地域・学校に貢献できる心を育てる。

課題解決に向けた実行力・人間関係調整力・言語能力の育成に重点を置いて育成を図り、自己肯定感や自尊感情をはぐくむ。

## 具体的方策

（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- (1) ①あいさつ、感謝や励ましの言葉、言葉遣いを指導する。また、「きれいな学校」をスローガンに掲げ、共用する場所の整理整頓や清掃に努める。相手を大切にする心、学校を大切にする心を育てる。
- ②児童により良い学級生活を目指した「行動目標」をもたせ、適宜学級力アンケート等で学級の実態を振り返り、PDCAサイクルをとおして協働する心を育成する。
- ③オリンピック・パラリンピック教育を推進し、ボランティアマインド・障害者理解・日本人としての自覚・豊かな国際感覚等を重点に育成する。
- ④考え、議論する道徳の授業に改善し、子供の内面を引き出し、自己の生き方を考え、他者ととともによりよく生きる心情を養う。
- ⑤アンケート・面談で児童理解に努め、いじめや体罰を根絶し、虐待防止に努める。
- (2) ⑥ユニバーサルデザインの考え方を土台に、主体的・対話的で深い学びを実現する授業に改善する。特に対話活動を充実させ、児童が学びを実感できるようにする。
- ⑦読書週間、朝読書を実施し、読書に親しみ、読書の幅を広げる子供を増やす。
- ⑧東京ベーシック・ドリル等を活用して基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。
- (3) ⑨生活振り返り週間を年３回設定し、児童の生活習慣の改善を図る。
- ⑩食育の年間指導計画をもとに、バランスよく食べる指導を重視した指導を推進する。
- ⑪体力ジャンプアップの取組、外遊びの励行とともに、体育の授業を中心に運動好きの児童を育成する。持久力、投力、柔軟性、敏捷性を重点に、児童の体力向上を図る。
- (4) ⑫特別支援教室拠点校として教育相談会等で保護者の相談や児童のアセスメントにより児童の困り感を受け止め、特別支援教室と担任と連携しながら支援を進めていく。
- (5) ⑬地域・保護者と協力して学校の安全管理と防災教育・安全教育を推進し、防災や安全の意識啓発を図る。
- ⑭市民まつり・育成会等の地域行事に関わったり、保護者や地域の教育力を活用したりすることで、地域に貢献する心、地域を愛する心を育成する。
- ⑮学校公開や学校メール・ホームページによる最新情報の発信や、定期的な通信を発行する。また、学校評価・保護者面談等で相互の連携を深める。